

9月23日(火・祝)開催の第17回自然科学研究機構シンポジウム

「記憶の脳科学 – 私達はどのようにして覚え忘れていくのか –」

への申込みが400名を超えました。ありがとうございます。

今回からの特別企画「高校生記者、大募集！」も含め、

まだ間に合います。ご登録はお早めに！

<http://www.nins.jp/sympo17.php>

このメールマガジンでは、シンポジウムの情報に加えて、自然科学研究機構(NINS)やNINSの各研究機関(※)が開催するイベント等の情報、そして最新の研究成果などをお伝えします。

(※NINSは、国立天文台、核融合科学研究所、基礎生物学研究所、生理学研究所、分子科学研究所の5つの研究所から成り立ち、自然科学研究の広い分野をカバーしています。<http://www.nins.jp/>)

INDEX

1. シンポジウム参加申し込み受け中
2. シンポジウム要旨集をダウンロードできます
3. 「高校生記者、大募集！」(シンポジウム関連イベント) まだ間に合います！
4. 各研究機関のイベント情報
5. 最新の研究成果・ニュース(宇宙竜巻から歩行を補助する人工バイパスまで)
6. おわりに

-
1. シンポジウム参加申し込み受け中！
 2. シンポジウム要旨集をダウンロードできます
-

9月23日(火・祝)開催の第17回自然科学研究機構シンポジウムへの申し込み受付中です。また、要旨集も同じウェブサイトからダウンロードできます。ぜひご覧下さい。

<http://www.nins.jp/sympo17.php>

<シンポジウム概要>

◆タイトル：第17回自然科学研究機構シンポジウム
「記憶の脳科学 – 私達はどのように覚え忘れていくのか –」

◆概要：

社会から脳研究に高い関心が寄せられるなか、日々凄まじいペースで研究成果は蓄積され、全体像を正確にとらえ続けることは至難の業です。今、何が注目されているのでしょうか。このシンポジウムでは、これまでの視点だけでは解明できない記憶研究の限界を突破すべく、多様なアプローチを紹介します。「記憶を人為的に創り出す」「近年の

コンピュータ将棋の進歩と機械学習」「ワーキングメモリ：脳のメモ帳」といったタイトルで、幅広い研究分野の第一人者が講演します。記憶研究の最前線その目で眺めてみませんか。

◆日時：平成 26 年 9 月 23 日（火・祝） 9:50～17:40（開場 9:20）

◆会場：一橋講堂（講演用）及び中会議場 3、4（展示用）
（東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター）

◆申込み：下記サイトからお申込み下さい
http://www.nins.jp/public_information/sympo17.php

◆動画配信：上記の Web ページよりご視聴頂けます

◆プログラム：

- 9:50～10:00 佐藤勝彦 機構長 挨拶
- 10:00～10:40 記憶とは何か／岩田誠（東京女子医科大学 名誉教授）
- 10:40～11:20 記憶を人為的に創り出す／井ノ口馨（富山大学 教授）
- 11:20～12:00 見る、憶える、思い出す：大脳皮質ネットワークにおける知覚と記憶の神経メカニズム
／平林敏行（東京大学 講師）
- 12:00～13:30 昼食、パネル見学
- 13:30～14:10 近年のコンピュータ将棋の進歩と機械学習／佐藤佳州（パナソニック株式会社 研究員）
- 14:10～14:50 記憶と脳指紋／柿木隆介（自然科学研究機構生理学研究所 教授）
- 14:50～15:00 休憩
- 15:00～15:40 ワーキングメモリ：脳のメモ帳／苧阪満里子（大阪大学 教授）
- 15:40～16:20 健忘症と認知症／森悦朗（東北大学 教授）
- 16:20～16:30 休憩
- 16:30～17:30 パネルディスカッション（立花隆、井ノ口馨、平林敏行、佐藤佳州、柿木隆介、苧阪満里子、森悦朗）
- 17:30～17:40 井本敬二 自然科学研究機構生理学研究所長 挨拶

3. 「高校生記者、大募集！」(シンポジウム関連イベント) まだ間に合います！

高校生の皆さん、脳や記憶について、日頃から疑問に思っていること、シンポジウム中にどうしても腑に落ちなかったことを、シンポジウム後に講演者にぶつけてみませんか？そして、学校やウェブサイトで、講演者から聞き出した「ここだけの話」を発表してみませんか？

日本の研究の未来を背負う高校生の皆さんに、日常では得られない体験を提供したいという思いから、今回初の試みとして、講演者を取材する場へ「高校生記者」をご招待致します（応募者多数の場合には、人数を限らせて頂きます）。質疑応答の様子を執筆頂いた記事は、機構のウェブサイトやこのメールマガジンに掲載させて頂く予定です。高校生の皆さん、または高校の先生方、まだ間に合います！ぜひご検討下さい。

「高校生記者」の詳細・ご応募はこちらから↓

http://www.nins.jp/public_information/sympo17.php#sympo04

取材を受ける講演者（柿木隆介教授、苧阪満里子教授、井本敬二所長）のプロフィールはこちら↓

http://www.nins.jp/public_information/pdf/sympo/sympo17_3profile.pdf

4. 各研究機関のイベント情報

◆8月1日—9月28日：第5回 国際科学映像祭
「伝わる科学」

<http://image.sci-fest.net/>

◆9月20日—10月26日：みたか太陽系ウォーク

<http://www.taiyokei-walk.jp/>

◆10月4日：生理学研究所 一般公開 2014 @愛知県岡崎市

「脳とからだのしくみ サイエンス・アドベンチャー」

<http://www.nips.ac.jp/contents/event/entry/2014/10/2014.html>

◆10月25日：核融合科学研究所 オープンキャンパス 2014 @岐阜県土岐市

<http://www.nifs.ac.jp/welcome/2014/index.html>

5. 最新の研究成果・ニュース

【国立天文台】

- ◆ 謎の宇宙竜巻「トルネード」の形成過程を解明
<http://www.nao.ac.jp/news/science/2014/20140818-tornado.html>
- ◆ 天の川銀河の星の元素組成で探る宇宙初代の巨大質量星の痕跡
<http://www.nao.ac.jp/news/science/2014/20140822-subaru.html>

【核融合科学研究所】

- ◆ 電子の動きからイオン温度を測る – マイクロ波協同トムソン散乱法 –
http://www.nifs.ac.jp/lhdreport/mailinfo_238.html
- ◆ プラズマから放出される光のエネルギーを測る – ボロメーター計測 –
http://www.nifs.ac.jp/lhdreport/mailinfo_236.html

【基礎生物学研究所】

- ◆ 生殖細胞にオスとメスの違いを生み出す新たな仕組み
<http://www.nibb.ac.jp/pressroom/news/2014/08/05.html>

【生理学研究所】

- ◆ 歩行中枢と腕の筋肉とをコンピュータで人工的に繋いで歩行の随意制御に成功
<http://www.nips.ac.jp/contents/release/entry/2014/08/post-274.html>
- ◆ 生まれつき目が見えなくても、相手の手の動作を認識するための脳のネットワークは形成される
<http://www.nips.ac.jp/contents/release/entry/2014/08/post-276.html>
- ◆ 脳が光沢を評価する指標を解明
<http://www.nips.ac.jp/contents/release/entry/2014/09/post-277.html>

【分子科学研究所】

- ◆ 水中で絶え間なく揺らいでいる糖鎖の立体構造を描き出す
https://www.ims.ac.jp/news/2014/09/05_2994.html

6. おわりに

8月16日(土)、岩手県奥州市にて、宇宙飛行士の若田光一さんが国立天文台の研究者2人と宇宙を語る講演会に参加してきました。会場にはおよそ900人の観客。若田さんとトークを繰り広げたのは、国立天文台水沢VLBI観測所の本間希樹准教授、RISE月惑星探査検討室の松本晃治准教授です。

<http://www.miz.nao.ac.jp/>

「宇宙に行って、自分の身体に何が起こるのか経験したかった。自分のもてる力を尽くし、人類のために貢献したかった」という若田さんに対し、「天の川銀河の外に飛び出て、銀河系全体の写真を撮りたい」「天の川銀河の中心にあるブラックホール付近に行って、時空のゆがみを直接測りたい」と夢を語る本間さん、「はやぶさのように小惑星に行ってサンプルをとりたい」「月に行って地震計をたくさん設置していきたい」とプロジェクトを具体的に語る松本さん。同じ「宇宙」に対峙してはいるけれど、宇宙空間で宇宙を体で感じとる宇宙飛行士の視点と、地上から宇宙のはるかかなたを想像し続ける天文学者の視点が絡み合うユニークな対談でした。

今回のシンポジウムのテーマ「記憶」の研究も、宇宙探査研究も、今後何を目指して進むのか、目が離せそうにありません。

[広報担当 : 松山桃世]

最後までご覧いただき、ありがとうございました。
ご意見等ございましたら、m.matsuyama@nins.jpまでお寄せ下さい。

【自然科学研究機構シンポジウム・メールマガジン】

発行者：自然科学研究機構 <http://www.nins.jp/>

発行システム：『まぐまぐ!』 <http://www.mag2.com/>

バックナンバー：http://www.nins.jp/public_information/mailmagazine.php

配信の中止・購読・バックナンバーはこちらから：

<http://www.mag2.com/m/0001498331.html>

Copyright(C)2014 NINS All rights reserved.
